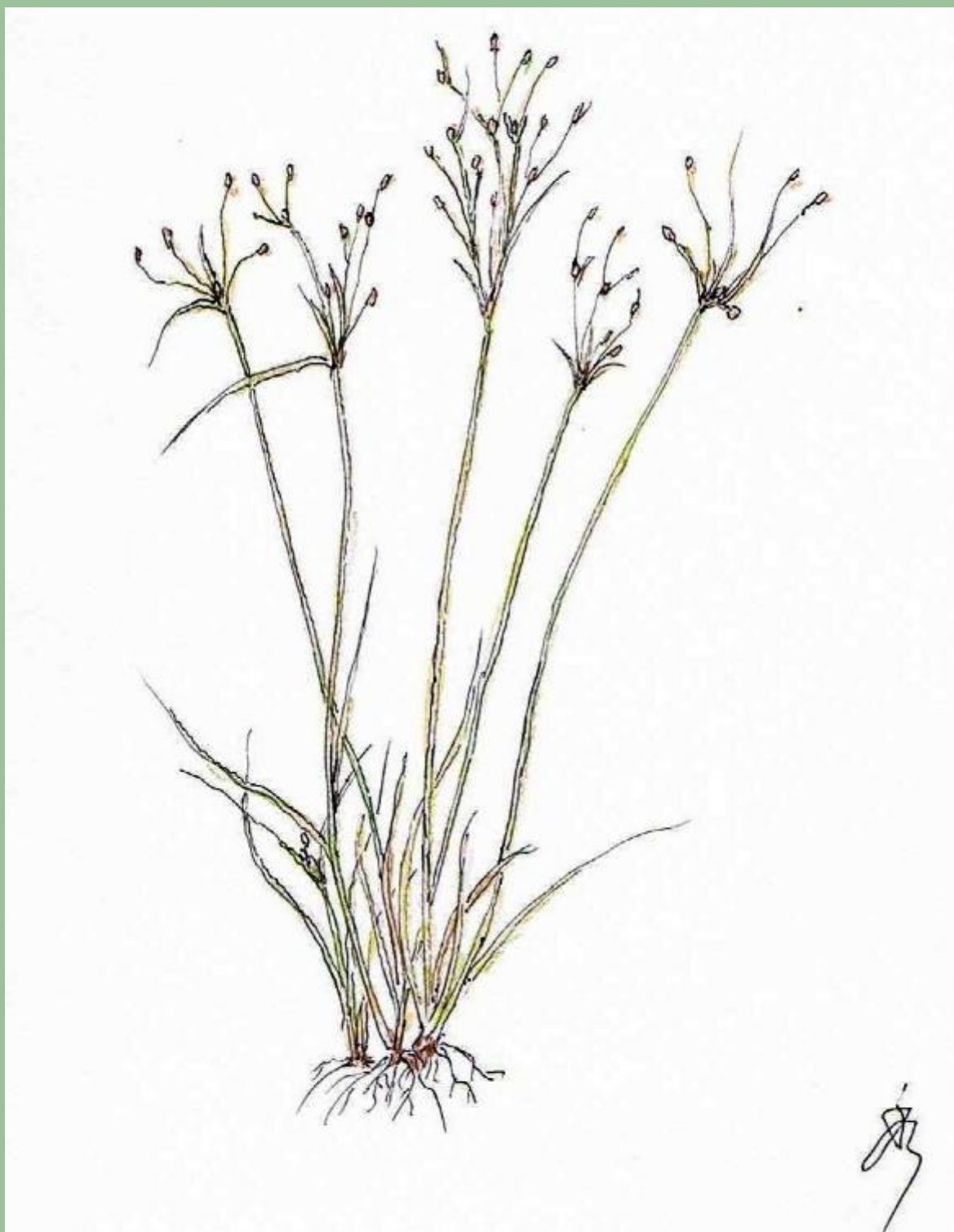


見沼たんぼ・野草スケッチ「メアゼテンツキ」 雌畔点突

科名：カヤツリグサ科 テンツキ属

花言葉 | 一





p. s : 酷暑のなか稲は暑さに負けず成長している脇で雑草も勢いよく伸びてきています。田んぼの畦にカヤツリグサ科などが多く見られ其の中にメアゼテンツキ もありました。13. 8. 6

原産地：中国・日本

生育地：水田、湿地、草地 1年草

茎：基部の鞘は淡色～褐色。茎の先に葉状の苞を3～5個出す、その間に花序をつける。10～25cm

葉：幅約0.5mmの糸状、茎よりかなり短く根元に集まる。

花期：8から10月

花：1～3回分枝。最下苞葉は2～3個つき、花序よりもはるかに短い。

花色：小穂。披針形で鋭頭。鱗片は茶褐色、中肋は竜骨となり、先は短い芒となり、わずかに外曲する。

果実：瘦果、茶褐色で平滑、長さ0.7mm、倒卵形。柱基は少し膨らみ、側面と下端から下向きの長毛が生える。雌蕊柱頭は2岐。

名前の由来：一

記述は、幾つかのサイトを参考にさせていただきました。

2015. 8. 5